

# 電池をつくろう

みなさんが、普段よく使っている電池…作ってみませんか？身の回りにあるもので、簡単に作ることができる電池をご紹介します。電池を作ったら、電子オルゴールなどにつなげてみましょう。どのようにしたら、電流を大きくすることができるか、試行錯誤してみると面白いですよ。

## ■ 備長炭を使った電池づくり

必要なものは、備長炭（木炭）、アルミニウムはく（アルミホイル）、水分を吸収しやすい紙（ティッシュペーパーやキッチンペーパーなど）、食塩水、電子オルゴールです。

### 作り方の手順

①紙を備長炭に巻き、食塩水に浸します。この際、備長炭の一方の端が出るように注意する。

②紙の上にアルミホイルを巻きます。

③備長炭の部分とアルミホイルの部分に、電子オルゴールをつなげます。音は鳴りましたか？

※備長炭の部分が陽極（+）、アルミホイルの部分が陰極（-）になります。

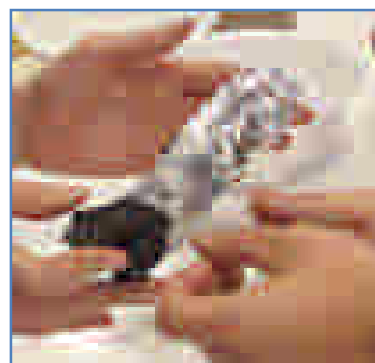


図1 用意するもの



図2 使用したコットンパフ

## ■ 一円玉と十円玉を使った電池づくり

必要なものは、一円玉、十円玉、水分を吸収しやすい紙（ティッシュペーパーやキッチンペーパーなど）、食塩水、電子オルゴールです。

### 作り方の手順

①10円玉と同じくらいの大きさに紙を切る。

②紙（ここでは化粧品のコットンパフを使用します）を食塩水に浸す。

③10円玉→紙→1円玉の順に重ね、電子オルゴールにつなげる。

※10円玉が陽極（+）、1円玉が陰極（-）になります。

④このセットをたくさん作り、すべて重ねてみましょう。



図3 一円玉と紙と10円玉を積み重ねたもの